

Command Line Interface (CLI) によるスイッチの設定 リモート ネットワーク モニタリング (RMON) イベント 管理 設定

目標

リモート ネットワーク モニタリング (RMON) はインターネット技術特別調査委員会 (IETF) によってローカル エリア ネットワーク (LAN) のモニタリングおよびプロトコル分析をサポートするために開発されました。 ネットワーク モニタリング データを互いに交換することを異なるネットワークモニタおよびコンソール システムが可能にするのは標準モニタリング仕様です。 それはデバイスの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) エージェントを予防的に監視し、ある特定の期間にわたるトラフィック 統計を SNMP マネージャに送信 しますトラップを有効に します。 ローカル SNMP エージェントは定義済みしきい値に対して実際、リアルタイム カウンタを比較し、ポーリングのための必要なしで中央 SNMP 管理プラットフォームによってアラームを、生成 します。 これはネットワークのベースラインに関連して正しいしきい値を設定 したら、プロアクティブ マネージメントのための有効なメカニズムです。

注: 知るために[スイッチの Web ベース ユーティリティによって SNMP トラップ設定を行う方法をここをクリックして下さい。](#) [Command Line Interface \(CLI \) ベースの手順に関しては、ここをクリックして下さい。](#)

RMON は特定のネットワーキング必要を満たす機能が付いているネットワーク モニタリング プロブおよびコンソール間で選択することを可能に します。 RMON はとりわけどのネットワーク モニタリング監視システムでも提供できるはずであること情報を定義 します。 統計情報、イベント、履歴、アラーム、ホスト、ホスト上 N、行列、フィルタ、キャプチャ およびトークン リングは RMON の 10 グループです。

この技術情報は方法で手順を CLI によってスイッチの RMON イベント設定を行う提供 します。

注: 知るために[スイッチの Web ベース ユーティリティによって RMON イベント 管理 設定を行う方法をここをクリックして下さい。](#)

適当なデバイス

- Sx300 シリーズ
- Sx350 シリーズ
- SG350X シリーズ
- Sx500 シリーズ
- Sx550X シリーズ

[Software Version]

- 1.4.7.05 — Sx300、Sx500
- 2.2.8.4 — Sx350、SG350X、Sx550X

CLI によるスイッチの設定 RMON イベント

設定 RMON イベント

RMON は発生すると同時に SNMP マネージャが情報のためのデバイスを頻繁にポーリングする必要がない減らし、時機を得た Status レポートを得ることをマネージャをの Device レポート イベント可能にしますのでマネージャとデバイス間のトラフィックを。

スイッチの RMON イベント設定を行うために次の手順に従って下さい。

ステップ 1. Switch Console へのログイン。デフォルトのユーザ名およびパスワードは cisco/cisco です。新しいユーザ名かパスワードを設定する場合、資格情報を代りに入力して下さい。

```
User Name:cisco
Password:*****
```

注: この例では、スイッチは Telnet によってアクセスされます。

呼び出します。スイッチの特権EXECモードでは、次の入力によってグローバルコンフィギュレーション コンテキストを入力して下さい:

```
SG350X#configure
```

ステップ 3. 次の入力によって新しいイベントを設定する rmon event コマンドを入力して下さい:

```
SG350X#rmon event [index] [none | log | trap | log-trap]
[community text] [description text] [owner name]
```

- index — イベント インデックスを規定します。範囲は 1 65535 までからあります。
- なし — 通知がこのイベントのためのデバイスによって生成されないこと規定します。
- 通知 エントリがこのイベントのためのデバイスによってログ 表で生成されること log — 規定します。
- トラップ — SNMPトラップがこのイベントのためのデバイスによって 1つ以上の管理ステーションに送られること規定します。
- ログトラップ — エントリがログ テーブルで生成され、SNMPトラップがこのイベントのためのデバイスによって 1つ以上の管理ステーションに送られること規定します。
- コミュニティ テキスト — (オプションの) SNMPコミュニティを規定しますまたは SNMPトラップが送信される時パスワードは使用しました。それはオクテット 文字列であるはずで、長さは 0 から 127 文字まで及ぶことができます。
- 注: これは SNMP ホストの設定で使用されるコミュニティである必要があります。詳細を[スイッチの CLI によって SNMPコミュニティを設定する方法について学ぶためにここをクリックして下さい。](#)
- 説明テキスト — (オプションの) このイベントを記述するコメントを規定します。長さは 0 から 127 文字まで及びます。
- 所有者名 — (オプションの) このイベントを設定した人の名前を規定します。規定されなくて、所有者名は空ストリングにデフォルトで設定されます。

```
[SG350X#configure
[SG350X(config)#rmon event 1 log-trap community Community1 owner cisco
SG350X(config)#
```

注: この例では、イベント インデックスは 1 です、通知の種類はログトラップです、コミュニティ名は Community1 であり、オーナーは cisco です。

イベントを取除くステップ 4. (オプションの) は次を入力します:

```
SG350X#no rmon event [index]
```

ステップ 5. スイッチの特権EXECモードに戻る exit コマンドを入力して下さい。

```
SG350X#exit
```

```
[SG350X#configure
[SG350X(config)#rmon event 1 log-trap community Community1 owner cisco
[SG350X(config)#exit
SG350X#
```

スイッチの特権EXECモードのステップ 6. (オプションの) はスタートアップ コンフィギュレーション コンフィギュレーション・ファイルに次の入力によって、行われた設定を、保存します:

```
SG350X#copy running-config startup-config
```

```
[SG350X] copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?
```

上書きファイル[startup-config]...プロンプトが現われればステップ 7. (オプションの) は YES か N のためにののためのキーボードのいいえ『Y』を押しません。

```
[SG350X#copy running-config startup-config
Overwrite file [startup-config]... (Y/N)[N] ?Y
04-May-2017 07:21:46 %COPY-I-FILECPY: Files Copy - source URL running-config des
tination URL flash://system/configuration/startup-config
04-May-2017 07:21:48 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully
SG350X#
```

CLI によって今うまくスイッチの RMON イベント設定を行う必要があります。

RMON イベントを表示して下さい

Events ページは発生したアクションまたはイベントのログを表示する。イベントの 2 つの型は記録することができます: ログかログおよびトラップ。イベントの操作はイベントがアラームに結合され、アラームの条件が発生したとき実行された。[スイッチの Webベース ユーティリティの RMON alarm を設定する方法に関する説明に関してはここをクリックして下さい。](#) CLI ベースのために、[ここをクリックして下さい。](#)

ステップ 1: スイッチの特権EXECモードでは、スイッチの行われた RMON イベント設定を表示するために次を入力して下さい:

```
SG350X#show rmon events
```

- index — このイベントを識別するユニークなインデックス。
- description — このイベントを記述するコメント。
- type — デバイスがこのイベントについて生成する通知の種類。それは次の値がある場合があります: どれも、ログ、トラップ、ログトラップ。ログの場合には、エントリは各イベントのためのログテーブルで作成されます。トラップの場合には、SNMPトラップは1つ以上の管理ステーションに送られます。
- コミュニティ — SNMPトラップが送信されるべきならこのオクテット文字列によって規定される SNMP コミュニティストリングと送信されます。
- owner — このイベントを設定したエンティティ。
- 送信される 最後 — 時間このエントリは最後にイベントを生成しました。このエントリがイベントを生成しない場合、この値はゼロです。

```
SG350X# show rmon events
```

Index	Description	Type	Community	Owner	Last time sent
1	Default Description	log-trap	Community1	cisco	04-May-2017 06:55:17
10	Default Description	log-trap	Default Community	manager	
20	Default Description	log	Default Community	cisco	

呼び出します。RMON イベントを表示するスイッチを、入力します次をログオンします:

```
SG350X#show rmon log [event]
```

- event — (オプションの) イベント インデックスを規定します。範囲は 1 65535 までからあります。
- この表は次のフィールドを表示するものです:
 - イベントの Event Log エントリ番号。
 - description — アラームを引き起こした イベントの説明。
 - Log エントリが入ったことタイム時間。

注: この例では、RMON イベント 1 は使用されます。

```
[SG350X] show rmon log 1
```

```
Maximum table size: 300
```

Event	Description	Time
1	MIB Var.: 1.3.6.1.2.1.2.2.1.10.3 , Delta , Falling , Actual Val: 0 , Thresh.Set: 20 , Interval(sec): 30	04-May-2017 07:19:39
1	MIB Var.: 1.3.6.1.2.1.2.2.1.10.3 , Delta , Rising , Actual Val: 282 , Thresh.Set: 10 , Interval(sec): 30	04-May-2017 07:20:24

CLI によって今スイッチの行われた RMON イベント設定を表示する必要があります。